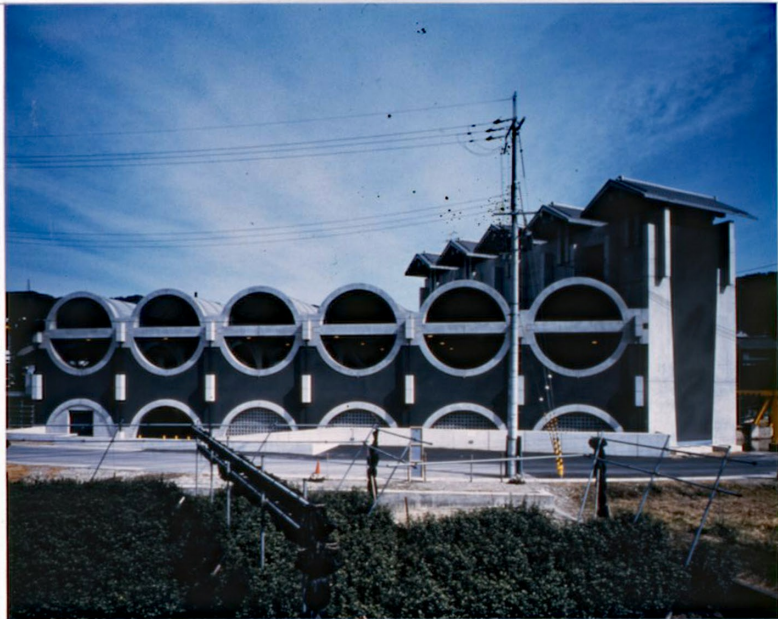


登録番号

20372

作品名

京阪宇治駅



周辺は風致地区に指定されており、東西に走るJRの線路を境に風景は一変する。南側は日本建築の建ち並ぶ風光明媚な観光地でありながら、北側では工業や新興住宅地が広がっている。今回はこの土地を二面性のある場としてとらえ、敷地の形状から生じた二つの軸線を基に設計を行った。一つは宇治橋に対し平行に建つ連続切妻屋根部分であり、威圧感をできる限り抑えるように分節化して景観に馴染ませた。一方コンコース部分は従来の路線とほぼ平行な軸線とし、宇治橋からはほとんど見えない角度とした。この部分にはガラスブロックによるヴォールト屋根を連続して架ける事で、従来のように人工照明に頼るのではなく、自然光を充分取り入れた明るいコンコースを実現した。また夜にはこのヴォールト屋根が巨大な照明器具となり、幻想的な風景を展開している。

